

	くまこうげんちょう 久万高原町	〒791-1201 上浮穴郡久万高原町久万212番地		電話 番号	(0892) 21-1111
		地域 指定	過疎 山振 農工 辺地(6) 特農 農振 国定公園 県立公園	FAX	(0892) 21-2860 (代表)

<http://www.town.kumakogen.ehime.jp/>

〈沿革〉

平16. 8. 1 町制施行
(久万町・面河村・美川村・柳谷村 合併)

〈市町のあらまし〉

愛媛県のほぼ中央部に位置し、旧久万町・面河村・美川村・柳谷村の4か町村が2004年8月に合併した高原のまちです。県都松山市から国道33号で約30kmの地点にあり、総面積は584km²、標高1000mを超える四国山地に囲まれた山間の地域で、土佐湾へ流れ込む仁淀川から分岐した、面河川、久万川が縦走する水源地域である。

快適な高原リゾートの機能や農林資源が「住む」「働く」「遊ぶ」「憩う」といった人々の生活と調和したまちづくりをめざしている。

〈由来〉

当地域は、久万郷として栄えてきた歴史があり、農林産物にも久万高原産などの名称が使われてきており、歴史・自然環境と産業、「ひと」「里」「森」が調和する「まち」の創造をさわやかに表現している名称である。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭38年度	平21年度	耐震補強・その他改修工事

〈行政組織〉

(令和 4. 10. 18現在)

議 会 (令和 4. 10. 18現在)

職員数 (令和 4. 4. 1現在)

区 分	名 前	任 期	議長	高橋 末廣	副議長	西山 清一	普通会計	233人
町 長	こうの 河野 たけやす 忠康	令和6. 9.11	議員	(条例定数) 13人			企業会計	95人
				(現 員) 13人			その他会計	11人
副町長	きたう 佐藤 のりあき 理昭	令和6.10. 2	任期	令和7. 4. 23			計	339人

(教育長を含まない)

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	令2国調	令4.1.1住基
人 口	(△4.0%) 12,781	(△7.0%) 11,887	(△7.9%) 10,946	(△11.9%) 9,644	(△12.4%) 8,447	(△12.4%) 7,404	7,650
男	6,022	5,610	5,109	4,498	3,957	3,513	3,659
女	6,759	6,277	5,837	5,146	4,490	3,891	3,991
世帯数	5,277	5,146	4,891	4,468	4,052	3,638	4,225

年齢構成（令2国調）

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	551 人	3,110 人	3,655 人
構成比	7.4 %	42.0 %	49.4 %

選挙人名簿
登録者数（令和4.9.1現在）

男	3,195 人
女	3,598 人
計	6,793 人

上浮穴郡

〈土地利用〉

（令和2.2.1現在）（ha. %）

総 面 積 令和4.7.1 (km ²)	林 野 面 積	林 野 率		経営耕地面積			宅 地 化 率 令3.1.1
				田	畑	樹園地	
583.69	52,126	89.3	463	330	120	13	0.9

〈産 業〉産業構造

（百万円・人）

区 分	総生産額(令元年度)		就業人口(令2国調)	
第1次	2,885	9.8 %	936	27.1 %
第2次	6,358	21.5 %	483	14.0 %
第3次	20,354	68.8 %	2,040	59.0 %
計	29,597	100.0 %	3,459	100.0 %

（注）「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業（令元年）

（百万円）

所得（令和元年度）

品 名	製造品出荷額等
木材	1,922
窯業・土石	1,016

1人当たり 市町民所得	2,231 千円
----------------	----------

令和3年度の主な建設事業

（百万円） 今後の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
情報通信基盤整備事業	357	情報通信基盤整備事業	87
防災情報伝達システム整備事業	503	公共土木施設災害復旧事業(町道大日線地すべり災害復旧工事)	128
ストックヤード整備工事	170	面河アウトドアセンター建設事業	97
菅生残土処理場整備事業	124	消防団移動系無線整備事業	95
久万町民館耐震補強・改修事業	101	社会資本整備総合交付金事業(町道上野尻線改良工事)	80
社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	75	農業農村整備事業(和田ノ窪地区頭首工整備工事)	70
公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	36	社会資本整備総合交付金事業(住安上住宅外壁等改修工事)	68
		産業文化会館空調設備及びトイレ改修工事	49
		B&G屋内プール改修工事	36

(観光・レクリエーション)

名勝旧跡 観光施設	石鎚山 面河溪 四国カルスト県立自然公園(古岩屋・五段高原・大川嶺) 皿ヶ峰連峰県立自然公園 幽谷上人 仰西渠 海岸山岩屋寺 菅生山大宝寺 特別天然記念物八釜の甕穴群 天然記念物伊予だけ自生地 ヒメボタル群生地 ふるさと旅行村 三坂峠 久万美術館 スキー場 久万高原天体観測館 面河山岳博物館 物産館みどり 上黒岩岩陰遺跡 農業公園アグリピア 道の駅みかわ 御三戸嶽 面河ダム 赤蔵ヶ池 道の駅「天空の郷さんさん」 まちなか交流館
祭 り 催 し 物	久万納涼まつり(8月) 御用木まつり(8月) みかわ納涼まつり(8月) 石鎚山ヒルクライム(9月) 久万林業まつり(10月) やなだに産業まつり(10月) 久万高原マラソン大会(10月) 秋の収穫祭(10月) 秋まつり(11月) 面河ふるさとまつり(11月) 町長杯ラグビーフットボール大会(3月) くまちなひなまつり(2～3月)
公 営 宿泊施設	

(名物・特産品)

万寿 茶 しいたけ はったい粉 りんご 久万銘木 山菜五色煮 ヨモギ粉 杉 桧 天然わさび酢漬 さしみコンヤク 手のべうどん 大根 あゆ アメノウオ 美川手延べそうめん あまごの甘露煮 トウフの梅漬 合格破魔矢(合格キップ) 夏秋トマト 夏秋ピーマン 久万高原清流米

(主な公共施設)

町民館 町立病院 診療所 ふるさと旅行村 運動公園 海洋センター 保健センター 久万美術館 産業文化会館 物産館みどり 久万高原天体観測館 ラグビー場 屋内ゲートボール場 図書館 老人保健施設あけぼの 農業公園アグリピア 面河山岳博物館 国民宿舎「古岩屋荘」 湧泉亭 おもごふるさとの駅 上黒岩遺跡考古館 道の駅みかわ やなだにさんさんドーム ふるさと創造の館こかげ 林業研修センター 養護老人ホームささゆり荘 農村環境改善センター 姫鶴荘 姫鶴牧場 道の駅「天空の郷さんさん」 まちなか交流館

(主要課題)

- 暮らし豊かな生活環境づくり(生活環境) バスの減便や廃線が進んでおり、車を持たない(持てない)住民に対する、福祉、生活利便の支援を図ることで、公共交通の需要を補完することを検討する必要がある。防災面では、耐震補強の完了していない公共施設に対し、効果的に対応を進める必要がある。ごみ・屎尿処理については、人口減少により屎尿の処理量も減少してきており、広域での処理について、前向きに取り組む必要がある。 - 魅力あふれる産業づくり(産業) 農業においては、高齢化等による担い手不足が深刻であり、若い世代を中心とした担い手の確保対策が急務となっている。林業においては、持続可能な林業を推進する上で、「久万材」のブランド化を図ることにより、採算性の向上を図っていく必要がある。商工観光においては、道の駅天空の郷さんさんの開業、道の駅みかわのリニューアル効果により、交流人口は増加しているが、通年観光を促進するイベントなどで、本町の魅力が伝わる取組みを行い、移住・定住の促進を図る必要がある。 - 安らぎとふれあいのある社会づくり(保健・福祉) 広大な本町において、高齢者支援には地域住民が互いに見守る体制が不可欠であることから、高齢者サロン活動の促進などによる地域コミュニティ機能強化が今後重要になってくる。地域医療については、プライマリ・ケアから救急医療までを担う久万高原町立病院の維持が、最重要課題のひとつである。 - 思いやりある人づくり・里づくり(教育・文化) 一人一人を大切にする学校教育を基本とし、「上浮穴教育」を継承し、幼稚園・こども園から高等学校につながる15年教育の充実をめざし、子どもたちに21世紀の社会をたくましく生き抜く力を育成する。また先人の築いた伝統文化を次代へ引き継ぐため、担い手の育成、各施設の有効活用により、「ひと・里・森がふれあい」とともに輝く元気なまちづくりをめざす。 - みんなで築く豊かで明るい未来(行政) 過疎高齢化や人口減少などにより、今後は地域に必要な活動ができなくなる自治会が出てくるおそれもある。今後は住民と行政との協働の下、地域の現状と課題に自らが向き合い、実情に応じた課題解決や活性化策を図り、住民による自立的な活動によって地域コミュニティ機能を維持し、住民自らが主役となった住みよい地域づくりを推進していく必要がある。
--

(地域づくりの事業等)

○自主防災組織の育成推進 「自分たちの地域は、自分で守る」を基本に、地域ぐるみの防災意識を高め、大規模災害に対する情報網を確立し、救助活動や初期消火を担う自主防災組織の育成を推進することによって災害に強いまちづくりに取り組んでいる。 ○新規就農者育成 久万農業公園研修センターにおいて新規就農者の確保、育成を行い、担い手の定着を促進する。 ○林業成長産業化地域指定 平成29年に、林野庁の「林業成長産業化地域」の指定を受け、地域の特色である優良かつ豊富な森林資源を生かして、素材生産から製品販売までを一元化して取り扱う「地域総合商社」の創設等、林業の成長産業化に取り組んでいる。 ○面河地区地域運営協議会(愛称:だんだんおもご)の設立 集落を結びつける途切れない確かなコミュニティの構築を実現するため、面河地区において地域運営協議会を設立し、住民同士のつながりを強化し、地域の課題に住民自らが自立的に向き合い、解決に向けて努力している。
--

(令和 4. 4. 1現在)

